

# 親子聖書日課

NO.1902 2025.3/9-15

名前

[日]主を信じていながら、いつの間にか「背信の女」イスラエルのように、他のものを神として拝んでいませんか。主よりも、仕事や付き合い、遊びが大切になり、主を喜ばないのです。「私に立ち帰れ」と主は招いていますから、今すぐに応えましょう。

[月]主はどれほど不信仰な者でも救いに招かれます。「私は背いたお前達をいやす」とは、何と深い主の愛でしょうか。幾度罪を犯す私達をも、主は赦して下さいのです。この愛に応えて、主の下に立ち帰り、罪を告白して、御言葉に聴従しましょう。

[火]救われるためには「心の悪を洗い去る」必要があります。しかし、「いつまでも、よこしまな思いを宿す」ほど、罪は自力では解決できません。ただ主の十字架の血潮によって清められます。神は悔い改めない心を、エレミヤ以上に嘆かれます。

[水]主はどんな時にも、「恵みの雨」を私達の人生に降らせ、豊かな霊の実を結ばせてくれます。しかし、罪を犯す時、恵みの雨は止み、心は砂漠のようになります。「主なる神を恐れ敬おう」とは、御言葉に聴従し、神第一の生活を送ることです。

[木]預言者や祭司は、国が減じようとしているのに、警告を与えず、「平和、平和」と唱えました。真の平和は、危機を認識し、悔い改めることから生まれます。それは単なる安心や気休めではありません。今の時代こそ、主による平和を語るべきです。

[金]精錬しても不純物が除かれなかったように、主の審判の火によっても民の悪は除かれません。心が頑なで悔い改めない人は、罪の赦しを経験できず、罪責感に苦しみます。「捨てられた銀のかす」と呼ばれないように、今すぐ悔い改めましょう。

[土]民は弱い立場である人々を苦しめ、正しい者を退け、神ならぬものを神として礼拝しました。神殿は神に守られているから安泰だと錯覚しました。神の宮である教会も、自らの欲望のままに利用するなら、「強盗の巢窟」になるのです。



	聖書	問題	答え
日	エレミヤ 3:1-18	背信の女イスラエルよ どうせよと、主は言われますか。	
月	3:19-4:4	主は背いたお前たちを どうされますか。	
火	4:5-31	あなたの心の悪をどうして 救われよと、主は言われましたか。	
水	5:1-31	お前たちの咎が、何をと どもめましたか。	
木	6:1-15	偽預言者たちは何がな いのに「平和、平和」と 言いますか。	
金	6:16-30	捨てられた何と、彼らは 呼ばれましたか。	
土	7:1-15	神殿は、お前たちの目に どのように見えるのか。	
		<b>感想と祈りの課題</b>	